

和歌山

地域面3ページ

和歌山支局

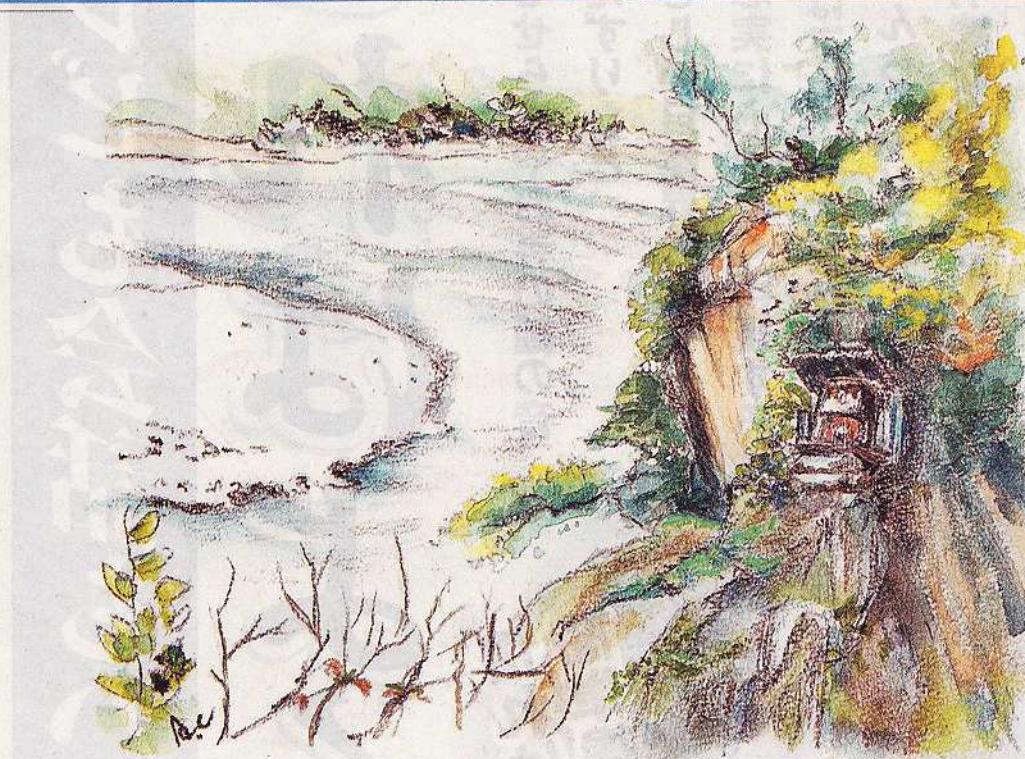
〒640-8154 和歌山市六番丁5
和歌山第一生命ビル4階
TEL 073(431)1411
FAX 073(433)0650
wakayama@mainichi.co.jp

【通信機関】

橋本 0736(32)0063 新宮 0735(28)1751
海南 073(482)0675 御坊 0738(22)2511
湯浅 0737(62)2870 田辺 0739(26)1026
【広告問い合わせ】 073(423)9291
【購読問い合わせ】 0120-468012

【広告問い合わせ】

【購読問い合わせ】



熊野古道
ノハラノミコト記

ノバチに魅せられ
熊野(田辺市本宮町) れる中村全文さんを、
に生まれ、地元のため 田辺市本宮行政局の一
に働き、退職後も田辺 室に訪ねた。机の上に
市教委にご奉公しながら は採集したばかりの、
ら、週末はミツバチの ねつとりしたクリームで
自然養蜂に励んでおら 色の透けるような蜂蜜

れる中村全文さんを、田辺市本宮行政局の一室に訪ねた。机の上には採集したばかりの、ねつとりしたクリーク色の透けるような蜂蜜が置かれていた。自然養蜂のものは初体験のため、私の心も上気していた。

「人間以上」の知恵に感動

かけを尋ねると「父が山林にミツバチの巣箱を置きに行くのに同行したり、父が使っていた古巣箱をみて口マンを感じ、蜜蜂の世界や養蜂方法を独学で学んだ。試しに父の使った古巣箱を山に置いたら、ミツバチが留まり、この道に入った。留まつたハチを初めて見たときは興奮しましたね」。

いい巢箱に分かれています。お見事です。現代人はハチ社会の助け合いで、少年のような瞳の由村さん。次に自然界におけるハチの役割を尋ねると、「私のカボチャ花がヤ煙でカボチャの花がいっぱい咲いている中、ミツバチが居るのですよ。ハチの自然愛護派で立派なカボチャが実っていました。ミツ

野川の蛇行でできた深い水たまりがあり、岸辺には大小の草木が生えてほんのり明るく、涼しく、木陰にテントでも張りたくなるような空間である。住み心地はミツバチも人間も同じなのかも知れない。この岩陰には2基の巣箱があり、一方の巣箱の入り口では門兵役の働きバチが天敵のスズメバチを入れないよう羽根を振って威嚇している。もし入った後に中村さんの夢をお伺いすると、「ミツバチがすみやすいように、自然林で囲んであげたい。そうすれば洪水、山崩れもなくなり、水害の被害もぐっと少なくなると思う。孫たちのためにも自然林の熊野に戻すべきですよ」と結んでくれた。秦華予定

れる中村全文さんを、えてくれたわけですか
田辺市本宮行政局の一ら、うれしかったでし
室に訪ねた。机の上によう

は採集したばかりの、
ねつとりしたクリーム
色の透けるような蜂蜜
が置かれていた。自然
養蜂のものは初体験の
ため、私の心も上気し
ていた。

中村さんは開口一
番、「ミツバチの事に
なると目が輝くんですね
よ」とのごあいさつ。
自然養蜂を始めたきっ
づ

えてくれたわけですか
人工授粉の必要がなく
なり、コストが下がり
ます。工業的効率が万
能ではなさそうです
て、まず学んだのは人
間学。女王バチを中心
にして働きバチの役割
が決まっていて、その
連携ぶりは、今や人間
社会以上です。次が女
王バチの分蜂という分
家制度。新しい女王蜂
が誕生すると、親の女
王蜂は速やかに家来の
働きバチを連れて、新
しい巣箱作りに精を出
し、今は100基ほど
設置しているという。
週のうち1日は愛妻
ね」と誇らし気だ。こ
れに気づいた中村さん
は巣箱作りに精を出
し、今は100基ほど
設置しているという。
天敵の虫の駆除、分蜂
の状況、働きバチの蜜
の付き具合が中心。時
には切り株の中をくり
抜いて蜜ろうを塗つたり、一部を焦がしたりして憩いの住み家づくり

たら、ミツバチが団子
のように包んで圧殺す
るという。その知恵も
感動ものだ。

れる中村全文さんを、田辺市本宮行政局の一室に訪ねた。机の上には採集したばかりの、ねうどりしたクリーム色の透けるような蜂蜜が置かれていた。自然養蜂のものは初体験のため、私の心も上気していた。

中村さんは開口一番、「ミツバチの事になると目が輝くんですよ」とのごあいさつ。自然養蜂を始めたきっ

かけを尋ねると「父が山林にミツバチの巣箱を置きに行くのに同行したり、父が使っていった古巣箱をみて口蔓を感じ、蜜蜂の世界や養蜂方法を独学で学んだ。試しに父の使った古巣箱を山に置いたら、ミツバチが留まり、この道に入った。留まつたハチを初めて見たときは興奮しましたね」。

「熊野のミツバチが中村さんの気持ちに応

えてくれたわけですか」と、ます学んだのは人間学。女王バチを中心にして働きバチの役割が決まっていて、その連携ぶりは、今や人間社会以上です。次が女王バチの分蜂という分家制度。新しい女王蜂が誕生すると、親の女王蜂は速やかに家来の働きバチを連れて、新

しい巣箱に分かれていぐ。お見事です。現代人はハチ社会の助け合いで学ぶべきですね」

少年のような瞳の中には大小の草木が生えてほんのり明るく、涼しく、木陰にテントで張りたくなるようなく空間である。住み心地はミツバチも人間もヤ煙でカボチャの花がいっぱい咲いている中、ミツバチが居るのに、ミツバチが居るのですよ。ハチの自然受粉で立派なカボチャが実っていました。ミツバチを増やすことにより、農業も果樹園芸も

人工授粉の必要がなくなり、コストが下がります。工業的効率が万能ではなさそうです

て、ます学んだのは人間学。女王バチを中心にして働きバチの役割が決まっていて、その連携ぶりは、今や人間社会以上です。次が女王バチの分蜂という分家制度。新しい女王蜂が誕生すると、親の女王蜂は速やかに家来の働きバチを連れて、新

たる、ミツバチが団子のように包んで圧殺するという。その知恵も、それに気づいた中村さんは巣箱作りに精を出しき、今は100基ほど設置しているという。天敵の虫の駆除、分蜂の状況、働きバチの蜜箱のチェックに専念するという。ポイントは、

週のうち1日は愛妻弁当持参で山歩き。巣箱のチェックに専念するという。ポイントは、

感動ものだ。

週のうち1日は愛妻弁当持参で山歩き。巣箱のチェックに専念するという。ポイントは、

感動ものだ。

「人間以上」の知恵に感動